

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書（Web 公開用）

申請者（ふりがな）	山口 茉亜 （やまぐち まあ）
所属・資格（※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載）	早稲田大学人間科学部健康福祉学科 4 年
発表年月 または事業開催年月	2025 年 11 月 2 日
発表学会・大会 または事業名・開催場所	辻内ゼミ 20 周年記念同窓会
発表者（※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること）	
発表題目（※学会発表の場合のみ記載）	
<p>概要と成果（学会発表で抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。）</p>	
<p>2025 年 11 月 2 日、辻内ゼミ創設 20 周年を記念し、リーガロイヤルホテル東京において「辻内ゼミ 20 周年記念同窓会」を開催した。卒業生、在学中の通学生、e スクール生、修士課程および博士課程の学生が一堂に会し、総勢 80 名の参加者により盛会のうちに終了した。</p> <p>冒頭では、辻内琢也教授より、直近 10 年間の研究・社会活動をまとめた著書をもとに活動報告が行われた。特に、東日本大震災による原発事故避難者の方々とともに取り組まれた裁判の経緯や、今後の研究の方向性、そして 30 周年を見据えた展望について貴重な講話がなされた。</p> <p>続いて、長年辻内研究室に所属し、現在は東京大学多様性包摂共創センター特任研究員として活躍されている金智慧先生より乾杯の挨拶があり、その後は卒業生同士の交流の時間となった。</p> <p>交流会では、1 期生から順に卒業生が登壇し、在学当時の思い出や現在の職業・家庭生活などについて発表を行った。卒業生は教育・行政・福祉・医療など幅広い分野で活躍しており、辻内ゼミでの学びを糧に社会の第一線で活動していることが確認できた。</p> <p>本会は、先生および卒業生・在学生在が世代を超えて交流する貴重な機会となり、特に進路を検討中の現役生にとって、キャリア形成を考える上で大きな刺激となった。</p>	

※無断転載禁止